



あいさつする鈴木正範委員長（由布市湯布院庁舎）

総務文教 温泉地から町づくりを学ぶ

5月24日～26日
大分県由布市・湯布院町視察研修

温泉地である湯布院町は観光地特有の旧所名跡や歓楽街がない中で、将来的な展望に立って健康的で誰もが安心して訪れられる観光地づくりを目指し、生活型観光地という「住みよい町こそ優れた観光地である。」との基本コンセプトが生まれ、行政と住民が一体となった取り組みにより年間400万人の観光客が訪れています。

集客の取り組みとして、「辻馬車の運行」、「ゆふいん音楽祭」、「湯布院映画祭」等の文化的イベントを開催しています。

イベント情報を全国へ発信することで、文化的な地域イメージのアピールができ、飛

躍的な発展につながり、昭和50年からスタートしたイベントは現在も行われています。

しかし、近年、観光協会や旅館組合・商工会などにも加入しない小規模な外部資本の流入が続出し、統一性を失いかけているとのことでした。

全国的に地域商店や商店街が消滅しようとしている中、広野町においても例外ではなく、観光関連業と地域内商店等が今以上に緊密な関係をつくり上げるとともに、行政と民間が力を合わせそれぞれの役割を分担していくことが重要であると感じました。

東京電力と意見交換

5月13日に、議員11人で東京電力(株)本店を訪問し、鼓紀男副社長をはじめとする会社幹部と意見交換を行いました。
会合では、平成25年5月の完成に向けて施工中である広野火力発電所6号機増設工事や3月28日

に開催された「第1回広野町みかんロードレース大会」等への協力についての礼とともに、雇用確保や魅力ある町づくりへの一層の協力など、さまざまな意見が出されました。



東京電力(株)本店で意見交換に臨む議員



議場が一新

「侍ブルー」に

～サッカー日本代表応援プロジェクト～



日本代表応援Tシャツで臨んだ6月定例会

6月定例会の会期中、4年に1度の「サッカーワールドカップ」が開催され、同大会に出場した日本代表を「サッカーのまち」でもある広野町が一丸となり応援しました。

初日となった15日は日本が初戦のカメルーンに1対0で勝利したこともあり、いつも以上に熱気につつまれた議会となりました。

今後もこのような活動をとおして、さらに身近な議会づくりを目指したいと思います。

議会を傍聴しませんか

「ひろの議会だより」は、議会での審議をわかりやすく皆様にお伝えするため、審議の内容を抜粋・要約して掲載しています。

次の定例会は9月です。

傍聴の手続きは、議会事務局で住所と氏名を記入するだけです。お気軽に傍聴にお越しください。

【広野町議会事務局】 電話 0240-27-4165